|  |  |
| --- | --- |
| 令和6年度（2024年度）用 | 小学校社会科用 |

|  |
| --- |
| 「新編 新しい社会」**知識の構造図****【5年】** |

令和6年（2024年）年1月版

東京書籍

□　知識の構造図　世界の中の国土

日本は、北半球およびユーラシア大陸の東に位置し、大韓民国、中華人民共和国、ロシア連邦などと隣り合っており、海に囲まれた大小の島々から構成され、広い領海をもつ島国である。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ④-2

中心概念 まとめる

（概念的知識）

世界の国々は、多様であり、それぞれ国旗が存在する。

②

・世界の主な国々

・国旗

日本の国土は、南鳥島、与那国島、沖ノ鳥島、択捉島を東西南北の端とし、海に囲まれた大小の島々で構成され、海をへだてて大韓民国や中華人民共和国、ロシア連邦などと隣り合っている。　　　　　　　　　③

・国土の広がりとまわりの国々

・主な島　・海岸線

日本は、海に囲まれた島国であるため、広い領海をもっている。また周辺国との領土をめぐる問題がある。

④-１

・領土

・領海

世界には六大陸と三海洋があり、日本はユーラシア大陸の東側、太平洋の西側に位置する。

①

・六つの大陸と三つの海洋

・緯度と経度

・赤道

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　つかむ　　　　　 調べる

□　知識の構造図　国土の地形の特色

日本の国土は、平地が少なく、山地が多く、火山が多い。川は山地から平地に向かって流れ、短く急である。

③-2

中心概念 まとめる

（概念的知識）

日本の川は、山地から平地に向かって流れ、外国に比べ短く流れが急である。また日本には大小様々な湖がある。

③-１

・川

・湖

日本の国土は、山地が多く、火山も多い。山地は南北に背骨のように連なり、平地は少ない。

②

・山地　・山脈

・火山　・高地

・高原　・丘陵

・平地　・平野

・盆地　・台地

我が国は、海に囲まれた島国であり、海岸線が長く、山がちな地形である。

①

・国土の地形

・海岸

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　 つかむ　　　　　　　 調べる

□　知識の構造図　低い土地のくらし

海津市の人々は、明治時代の川の大改修を経て、水害を克服してきた。低地の地形を生かした農業や、季節ごとの楽しみを生かした観光などを通して、低地の自然環境を生かしたくらしをしている。　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　⑤-2

中心概念 まとめる

（概念的知識）

輪中では昔から農業を行っていたが、道路や揚排水機場、パイプラインなどの整備により、豊かな水を生かした大規模な農業を可能にした。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　④

・うめ立て

・揚水機場

・排水機場

・パイプライン

海津市の人々は、低い土地ならではの川や水を生かした楽しみがあり、市民のレクリエーションや観光などに広い土地や豊かな水を生かしている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑤-１

・河川じき

海津市には、もともと川が入り組んで輪中が多くあったが、明治時代に、ヨハネス・デレーケが川の流れを完全に分け、水害の発生件数は大幅に減った。今でも地域の人々は協力して水防演習を行い、水害に備えている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　③

・治水　・水屋

・排水機場

・水防演習

岐阜県海津市は、三つの大きな川の下流に広がる平らな土地で、多くが堤防で囲まれ、土地の高さがゼロメートル以下のところもある。

①

・水害

・堤防

・輪中

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　 つかむ　　　　 調べる

□　知識の構造図　高い土地のくらし

嬬恋村の人々は、高い土地に適応して生活しており、高原野菜の生産や、季節ごとの気候を生かした観光産業を行うことを通して、高原の自然環境を生かしたくらしをしている。

⑤-2

中心概念 まとめる

（概念的知識）

火山灰が積もってできた土地で野菜づくりには不向きだった嬬恋村を、人々が土地を改良して夏の涼しい気候を生かしたり、交通網の発達を生かしたりしながら全国一のキャベツの生産地にしていった。　　　　③

・火山灰

・土地を耕す

・高原野菜

群馬県嬬恋村は、千メートル以上ある高原で、周囲は大きな山に囲まれている。東京に比べ一年中気温が低く、夏は特に涼しい。

①

・高原

・火山

・キャベツ畑

夏秋キャベツの生産は群馬県が最も多い。夏涼しい高原の気候を生かして、春から秋までの長い期間、何回にも分けて出荷している。

④

・嬬恋村のキャベツづくり

・予冷庫

・促成さいばい

・抑制さいばい

嬬恋村には、高い土地ならではの楽しみが季節ごとにあり、自然や気候の特色をくらしに生かしている。

⑤-１

・スケートの授業

・ハイキング

・スキー

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　 つかむ　　　　調べる

□　知識の構造図　国土の気候の特色

日本の気候には、四季の変化が見られ、南北の位置、地形や季節風などによる地域差が大きい。また、つゆや台風等が、人々のくらしに大きく関係している。

③-2

中心概念 まとめる

（概念的知識）

日本各地の気候の特色は、年間の気温と降水量などで区分される。また、南北の位置や地形、土地の高さなどによって、雨の多い地域、雨の少ない地域、雪の多い地域のように気候は異なっている。　　　　　 ③-１

・気候（分布）

・気温（分布）

・地形

つゆや台風、季節風は、日本の気候を特色づけている現象であり、人々のくらしにも大きく関係している。

②

・季節風　・つゆ

・雪　・台風

・降水量

日本では四季の変化が見られ、日本列島が南北に細長く山がちなため、あたたかい地域や寒い地域がある。四季の変化が見られることは、日本の気候の大きな特色である。　　　　　　　　　　　　　　　　　　①

・気候

・四季の変化

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　 つかむ　　　　　　　　 調べる

□　知識の構造図　あたたかい土地のくらし

沖縄県では、夏の暑さや台風からくらしを守る工夫をするとともに、あたたかい気候や美しい自然を生かした観光産業がさかんで、気候を生かした特産物があるなど、自然条件を生かしたくらしをしている。　　　　　　　　　　　　　　 ④-2

中心概念 まとめる

（概念的知識）

沖縄県では、一年を通して気温や湿度が高い気候に合ったさとうきびを栽培している。また、パイナップルなど沖縄県の気候に合う特産物も栽培している。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　②

・さとうきび

・パイナップル

・きくづくり

沖縄県の人々は、歴史ある豊かな文化と自然を大切にし、自分たちの文化を守り、次の世代に引き継ぐ努力をしている。

④-１

・文化（琉球文化）

沖縄県は、一年を通してあたたかい気候や、美しい自然を生かした観光産業がさかんで、多くの観光客が訪れている。一方で、環境を守る上で課題もある。 ③

・気候と自然を生か

　す観光産業

・さんごしょう

・プロ野球のキャンプ

沖縄県は、夏は暑い日が長く続き、台風が多く、一年を通してあたたかい気候である。人々は夏の暑さや台風に備え、家のつくりなどを工夫してくらしを守っている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　①

・沖縄県（那覇）の気温と降水量

・３月の海開き

・伝統的な家

・コンクリートづくりの家

・地下ダム

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　つかむ　　　　　　　調べる

□　知識の構造図　寒い土地のくらし

北海道の人々は、冬の寒さや雪からくらしを守る工夫をするとともに、夏の涼しさや雪を生かした観光や広大な土地を使った農業などがさかんで、北海道の自然条件を生かしたくらしをしている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ④-2

中心概念 まとめる

（概念的知識）

十勝地方では、広大な土地や夏でも涼しい気候を生かして農業や酪農を行っている。

③

・十勝平野

・輪作

・酪農

・米づくり

北海道には、昔から先住民族のアイヌの人々がいて、独自の文化をつくってきた。

④-１

・アイヌ文化

・先住民族

雪の多い札幌市では、除雪を行うなど雪を克服したり、雪を生かして観光を営んだりしている。

②

・雪対策　・除雪

・雪たい積場

・ゆう雪施設

・雪まつり

北海道は、冬は雪が多く寒い日が長く続き、夏は涼しい気候であり、自然が多く残されている。人々は冬の厳しい寒さに備え、家のつくりなどを工夫してくらしている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　①

・札幌市の気温と降水量

・スキー学習

・三角屋根の家と無落雪の家

・断熱材

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　つかむ 調べる

□　知識の構造図　くらしを支える食料生産

我が国の食料生産は、気候や地形などの自然条件を生かして営まれ、国民の食料を確保する重要な役割を果たしている。

④

中心概念 まとめる

（概念的知識）

米は、その地域の地形や気候に合わせて全国各地の水田で生産されているが、特に東北地方や新潟県、北海道の収穫量が多い。

②

米をはじめ、野菜、果物、畜産物、水産物などの産地は、全国各地に広がっていて、外国が産地のものもある。

①

野菜、果物、畜産物は、自然条件を生かして生産しているため、主な産地は、生産物によってそれぞれ異なっている。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ③

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　③⑥

社会的事象

（具体的知識）

・生産額

・水田

・％（パーセント）

・産地

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　　つかむ　　　　　　　　　調べる

□　知識の構造図　米づくりのさかんな地域

庄内平野で米の生産に関わる人々は、自然条件を生かしたり、生産の工程や輸送方法を工夫したりして、安全でおいしい米を消費者に届けるために努力している。

⑧

中心概念 まとめる

（概念的知識）

生産された米は、カントリーエレベーターに保管されたあと、様々な方法で輸送され、消費者に届けられている。米づくりにはいろいろな費用がかかっている。直接消費者に販売する方法をとる農家もある。

⑥

米づくりのさかんな庄内平野では、米づくりに適した自然条件がそろっている。

①

米づくり農家は、種もみを選ぶところから出荷前のもみすりまで、様々な仕事を行っている。

③

米づくり農家は、耕地整理や機械化を進め、生産性を高める工夫や努力を進めてきた。

④

農業協同組合（ＪＡ）や水田農業研究所、土地改良区の人たちは、安全でおいしい米づくりのために、農家を支援している。

⑤

米づくり農家は、消費量や農業従事者の減少などの課題を抱えているが、課題解決のために工夫や努力を重ねている。

⑦

社会的事象

（具体的知識）

・費用

・品種改良

・農業協同組合（ＪＡ）

・生産性

・耕地整理

・専業農家

・カントリーエレベーター

・

・庄内平野

・日照時間

・季節風

・転作

・生産調整

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　　つかむ　　　調べる

□　知識の構造図　水産業のさかんな地域

我が国の水産業は、自然条件を生かして営まれており、水産業に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えている。　　　　　　　　　　⑦

中心概念 まとめる

（概念的知識）

枕崎漁港の近くには、伝統的な水産加工品であるかつお節をつくる工場が数多くある。漁港で水揚げされたかつおを使って、時間と手間をかけてつくられたかつお節は、全国に出荷されている。 ④

・かつお節

・水産加工

鹿児島県では、遠洋でのかつお漁がさかんである。かつお漁には、一本釣りやまき網漁などの方法があり、魚群探知機で魚の群れを探したり、とった魚をすばやく冷凍したりするなど工夫して漁が行われている。

②

・遠洋漁業

・魚群探知機

・まきあみ漁

・水あげ

鹿児島県枕崎の漁港で水揚げされた魚は、魚市場でせりにかけられたのち、全国へ運ばれる。魚を消費者のもとへ届けるまでに、様々な人々が関わることで価格が変動する。　　　　　　　　　　　　　　　　　③

・魚市場　・せり

・価格

・養しょく・さいばい漁業

・赤潮

鹿児島県では、かんぱちやぶり、うなぎなどの魚の養殖がさかんである。また魚のとりすぎで水産資源が減らないように、魚をとる際の決まりをつくったり、栽培漁業にも取り組んだりしている。　　　　　　　　⑤

・水産業

・暖流と寒流

・漁場　・漁港

・大陸だな

日本は世界有数の魚介類の消費国であり、魚介類は重要な食料である。日本のまわりには寒流・暖流が流れていてよい漁場があり、全国に多くの漁港がある。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　①

日本では排他的経済水域の影響もあり、遠洋漁業や沖合漁業の生産量が減っている。漁業で働く人の数も減っていて、水産業の課題を解決していく必要がある。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑥

・排他的経済水域

・漁獲量

・漁業で働く人数の変化

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程 　つかむ　 　調べる

□　知識の構造図　これからの食料生産とわたしたち

食料の多くを輸入に依存する我が国では、食の安心・安全の確保、持続可能な食料生産・食料確保が重要な課題になっており、食料自給率を上げることが大切である。

④-2

中心概念 まとめる

（概念的知識）

消費者の食の安心・安全への関心が高まり、スーパーマーケットなどではトレーサビリティの取り組み、検疫所では輸入食品の検査などの取り組みを行い、食の安心・安全の確保に努めている。

③

・フードマイレージ

・食の安心・安全

・トレーサビリティ

・検疫所

和食や洋食など食生活の多様化が進む中で、我が国は多くの食料を輸入に頼るようになっている。その一方で、食料が大量に廃棄されるなどの問題も生じている。　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　 ②

②

・和食と洋食

・食生活の変化

・輸入量

・食品ロス

生産者は消費者の声に応えながら、生産物の価値を高めたり、最新の技術を取り入れて生産したりするなど、食料生産の発展に向けた新しい取り組みを進めている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　➊

多くの食料を輸入に頼る我が国では、食料を安定的に確保していくことや農業で働く人の数を増やすことが大切であり、地産地消や農業法人などの取り組みが進められている。　　　　　　　 　　　　　 ④-１

・地産地消

・農業法人

我が国の食料生産や食料確保には、米余り、輸入の増加、安全な食料の生産・確保、農業や水産業で働く人の減少など、様々な課題がある。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　①

①

・食料生産

・食料自給率

・輸入

社会的事象

（具体的知識）

・価値の高い農産物

　や水産物

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　つかむ　　　　 調べる　　　　　　　　　　　　　 　　　 いかす

□　知識の構造図　くらしを支える工業生産

日本では様々な種類の工業が営まれており、太平洋ベルトをはじめとして、全国各地に工業のさかんな地域が分布している。

③－２

 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑤

中心概念 まとめる

（概念的知識）

日本では、全国各地に工場が分布している。工業生産がさかんな地域は工業地域や工業地帯と呼ばれ、太平洋ベルトを中心に海沿いに広がっている一方で、内陸部にも分布している。　　　　　 　　　　 ②

④

日本では、各地で様々な工業がさかんに営まれている。

①‐２

日本の工場は大工場と中小工場からなり、工場の多くは中小工場でたくさんの人が働いているが、生産額は半分以上を大工場が占めている。現在の日本の工業は機械工業がさかんである。　　　　　　　　 ③‐１

工業の種類は、機械、金属、化学、食料品、繊維などに分類することができ、様々な工業製品がわたしたち国民の生活を支えている。

①‐１

１

社会的事象

（具体的知識）

・工業生産額

・工業の分布

・工業地域・工業地帯

・太平洋ベルト

・工業製品

・大工場と中小工場

・機械工業

・金属工業

・化学工業

・食料品工業

・せんい工業

・そのほかの工業

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　　つかむ　　　調べる

□　知識の構造図　自動車をつくる工業

自動車生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えている。

 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　⑦

中心概念 まとめる

（概念的知識）

日本は自動車の生産がさかんであり、愛知県豊田市には、多くの自動車をつくる工場が広がっている。

①

組み立て工場では、すばやく、正確に、効率よく自動車をつくっている。

③

関連工場の人々は、組み立て工場からの注文に合わせて部品をつくり、組み立て工場の人々と協力して自動車を生産している。

④

完成した自動車は、キャリアカーや船で国内や国外に輸送される。また、輸送費を抑え、外国の人に合わせた自動車をつくるために現地生産もしている。 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑤

自動車会社は、消費者の要望や社会の動きに合わせて、よりよい製品を生み出している。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　 　　　⑥

社会的事象

（具体的知識）

・キャリアカー

・自動車専用船

・現地生産

・関連工場

・組み立て工場

・組み立てライン

・輸送用機械

・脱炭素社会

・燃料電池

・電気自動車

・自動運転技術

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　　つかむ　　　調べる

□　知識の構造図　工業生産を支える運輸と貿易

運輸や貿易は、工業製品を各地に届けたり、日本の工業生産に必要な燃料や原材料を確保したりするなど、工業生産にとって重要な役割を果たしている。

 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑤－2

中心概念 まとめる

（概念的知識）

日本の工業では、工業製品が運輸の働きによって運ばれるとともに、港や空港を通じて貿易が行われている。

①

①

工業製品は、製品の種類や量、輸送する場所によってトラックや鉄道、船、飛行機などを使い分けながら各地に輸送されている。

②

②

日本は、工業製品に必要な燃料や原材料だけでなく、国内ではつくれないものや国内よりも安くつくれる製品を輸入している。

③

③

日本は、輸入した原材料をもとにして高い技術で生産した製品を外国に輸出している。また、輸出するだけでなく、海外での現地生産も増加している。 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ④

④

資源の多くを輸入している日本は、世界との良好な結びつきを大切にしながら、再生可能エネルギーの開発など輸入にばかり頼らない取り組みを進めることが必要である。　　　　　　　　　　　　　　　　⑤‐１

⑤

社会的事象

（具体的知識）

・資源

・再生可能エネルギー

・輸出額

・集積回路（ＩＣ）

・輸入額

・燃料や原材料

・トラックターミナル

・輸送もう

・輸送手段

・運輸

・貿易

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　　つかむ　　　調べる

□　知識の構造図　これからの工業生産とわたしたち

日本の工業生産は、資源の確保や人口減少などの課題があるなか、高い技術や伝統的な技術を生かしたり、工場どうしが技術をもち寄って製品をつくったりするなど、国内外で評価される取り組みを行って発展していこうとしている。 ④‐２

 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑦⑧

中心概念 まとめる

（概念的知識）

日本の工業生産がこれからも発展していくためには、「消費者の願い」「高い技術」「環境への配慮」「資源確保」など、様々な視点から工業のあり方を考えていく必要がある。 　　　　　　　　　　　 　　❶

日本の工業生産には、資源や働く人の確保、環境への配慮などの課題がある。

①

①

伝統的な工業では、昔から伝わる技術を守りながら地域ブランドとしたり、伝統的な技術を生かして新しい製品を開発したりしている。

②

大田区の工場では、その工場でしかできない技術を発揮したり、工場どうしで技術をもち寄るなどの協力をしたりして、国内外で評価されるような製品をつくっている。　　　　　　 　　　　　　　　　　　　③

④

日本の工業生産では、働く人の確保や環境への配慮など、持続可能な社会を目指して、新しい技術やしくみを発展させていくことが求められている。 ④‐１

社会的事象

（具体的知識）

・少子高齢化

・持続可能な社会

・オンリーワン

・仲間まわし

・中小工場

・地域ブランド

・伝統的な工業

・働く人

・環境

・資源

・技術

・品質

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　　つかむ　　　調べる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　いかす

□　知識の構造図　情報産業とわたしたちのくらし

放送局で働く人々は、人々が求めている情報を集め、選ぶとともに見たり聞いたりする人が情報を活用できるように正確にわかりやすく伝える工夫や努力をしている。情報には、人々の行動を決めるきっかけとなったり、報道被害や社会の混乱を起こしたりするなど大きな影響がある。　　　　　　　　　　 　　　 ⑥

中心概念 まとめる

（概念的知識）

放送局で働く人々は、番組を見る人が求めている情報を選ぶとともに、働く人たちが協力して原稿や映像を編集したり、内容を確かめたり、見る人が情報を使えるように工夫したりして放送している。 ④

・肖像権

・編集長

テレビなどの情報は、人々の行動を決めるきっかけとなったり、報道被害や社会の混乱を起こしたりすることがある。

⑤

⑤

・報道被害

・コマーシャル

・政見放送

放送局の人々は、一本のニュース番組をつくるために、全国各地から情報を集め、正確さ、人権や公平・公正さを考えつつ、見る人にわかりやすく編集してニュース番組を放送している。　　　　　　 　　　③

・記者

・人権

・ニュース番組

・メディア（マスメディア）

ニュース番組では全国や世界のできごと、天気予報などの情報が、その日のうちに集められ、放送されている。

①

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　　つかむ　　　　　調べる

□　知識の構造図　情報を生かす産業

大量の情報や情報通信技術などの活用は、我が国の様々な産業を発展させ、国民生活を向上させている。

⑤

中心概念 まとめる

（概念的知識）

販売の仕事をするコンビニエンスストアでは、商品の配送にも情報が生かされ、それは地域の人々の安心・安全を確保する取り組みにもつながっている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　③

④

・位置情報

・商品の配送

販売の仕事をするコンビニエンスストアでは、情報通信技術を活用し、他の産業ともつながりながらサービスの幅を広げている。

④

・情報通信技術
（ＩＣＴ）

・サービス

販売の仕事をするコンビニエンスストアでは、商品の販売に情報を生かしたり、大量の情報を活用して商品の開発を行ったりしている。

②

・大量の情報

・ＰＯＳシステム

・ＩＣカード

・人工知能（ＡＩ）

・電子マネー

・スマートフォン

情報通信技術が発達し、人々のくらしや様々な産業において情報が活用されている。

①

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　　つかむ　　　　　調べる

□　知識の構造図　情報を生かすわたしたち

家庭や社会では日常的に情報が活用され、インターネットの活用は、便利さをもたらす反面、いじめや犯罪などの問題も起きており、メディアリテラシーを身に付け、ルールやマナーを守って活用することが大切である。　　　　　 　 ②‐２

中心概念 まとめる

（概念的知識）

インターネットはたくさんの情報を送ったり得たりすることができるが、問題が起きることもあり、ルールやマナーを守った活用が大切である。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　①‐２

・ルールやマナー

いろいろな産業で情報が活用され、生活が便利になっている一方、必要な情報を選ぶことや、正しい情報モラルを知り、適切に情報を活用するように気をつけていくことが大切である。　　　　 ❶

学校や家庭でのオンライン学習の場面でもインターネットは効果を発揮するが、そのためには正しい使い方をする必要があり、メディアリテラシーを身に付けることが大切である。　　　　　　　　　　　②‐１

・メディアリテラシー

情報は日常的に活用され、便利さを提供する反面、トラブルに巻き込まれるなどの問題点もある。

①‐１

・ＳＮＳ

・ネットショッピング

・パソコン

・スマートフォン

社会的事象

（具体的知識）

・情報モラル

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　 つかむ　　　　　　　 調べる　　　　　　　　　　　　　　　　 いかす

□　知識の構造図　自然災害を防ぐ

自然災害は国土の自然条件などと関連して発生している。自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や都道府県などが様々な対策や事業を進めている。

⑥

中心概念 まとめる

（概念的知識）

津波は、大きな地震が発生した後に起こる。国や都道府県では、津波災害に備え、防潮堤や津波避難タワーを建設するなど、災害が起きた際に、被害が大きくならないようなまちづくりをしている。　　　　　　 ③

・公共事業

・防潮堤

・津波ひなんタワー

日本は、つゆがあり台風がよく来る場所にあるため、洪水や土砂災害などに備える必要がある。そのため、国や都道府県では、砂防ダム、放水路、ハザードマップなどの多様な対策を行っている。 ④

・砂防ダム

・土砂災害

・放水路

・ハザードマップ

日本は複数のプレートの出合う場所にあり、内陸にも断層が多く地震が多い。地震の前触れについて話し合い、実際に地震が起きたときの対応も国は検討を行っている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ②

・プレート

・緊急地震速報

・国土交通省

・耐震工事

日本には多くの火山があり、現在も活動している。また、日本海側に大雪の降る場所が集中している。国や都道府県では、災害に応じた対策を して、少しでも被害を減らす、減災の取り組みをしている。　　　　 ⑤

・減災

・火山の観測

・なだれを防ぐさく

・地震災害

・津波災害

・風水害

・火山災害

・雪害

日本では様々な自然災害が頻繁に発生しており、これからも発生する可能性がある。

①

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　つかむ　　　　　調べる

□　知識の構造図　わたしたちの生活と森林

森林は、その育成や保護に従事している人々の工夫と努力により国土の保全など重要な役割を果たしている。

 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑥

中心概念 まとめる

（概念的知識）

人工林には、木材を生み出す働きがあり、林業で働く人々は長い年月をかけて木を育てている。また、林業で働く人々は山の環境を守りながら仕事をしている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　④

・人工林　・林業

・木材　　・森林組合

・間ばつ

森林には、水をたくわえたり、空気をきれいにしたり、土砂崩れを防いだりする働きがある。また、森林資源は、木製品として生かされている。

⑤

・防雪林　・防砂林

・防風林　・森林資源

・森林ボランティア

天然林には、人々の安らぎの場や生き物のすみかをつくりだす働きがあり、その働きを保つためには、森林を保全していくことが大切である。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　③

　　　　　　　　　　　　　　　　　　③

④

・天然林　・白神山地

・世界遺産・赤石川

・保護地区・遊山道

・日本の土地利用

森林は、日本の国土面積の３分の２を占めている。森林は全国に広がっていて、日本は世界でも森林の割合が多い国である。

①

①

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　　つかむ　　　　　調べる

□　知識の構造図　環境を守るわたしたち

鴨川では、これまで市や工場、地域の人々などの様々な努力により、公害の防止や生活環境の改善が図られてきており、環境保全につながる継続的な取り組みをすることや、健康な生活を守ることが大切である。　　　　　 　　　　 　⑤

中心概念 まとめる

（概念的知識）

高度経済成長によって日本の産業が発展するなか、国民生活は便利になったが環境に対する国民の意識が低く公害が発生した。鴨川でも住民の意識が低く、川が汚れてしまった。　　　　　　　　　　　　　　　②

・高度経済成長

・公害

鴨川は京都市の産業を支えるだけでなく、市民のいこいの場として親しまれているが、五十年以上前は、とても汚れていた。

①

①

・鴨川

・ＢＯＤ

きれいになった鴨川を守るために、住民たちが川に親しむイベントを行ったり清掃活動を行ったりして、人々の環境への意識を高める取り組みをしている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　④

・鴨川を美しくする会

・条例

全国的に公害が広がったころ国は法律などを定めた。京都市は、下水道の整備や工場排水を規制し、川を汚さないために工場などの協力を進めた。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　③

・法律

・下水道の整備

・工場排水の規制

・友禅染

自然を守りながら人々が生活していくために、どのようなことを大切にしなければならないか、異なる立場の人々の意見もふまえながら考えていくことが必要である。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　❶

・ことなる立場

・環境

・自然に対する二つの考え方

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　 つかむ　　　　調べる　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　いかす